

## 2016全日本男女混合綱引大会 選手注意事項

### 前日(10/29)日程

- 前日計量 大会会場において10月29日(土)16時10分～17時00分まで受け付けます。  
前日計量は、チーム全員が揃っていなくても受けられます。前日に計量できなかった選手は、翌日に計量を受けて下さい。
- 事前申込 前日または当日計量について別紙にてご連絡(FAX)ください。

### 当日(10/30)日程

- 会場 ウィンク体育館(姫路市西延末90番地)  
開場 午前8時00分  
受付 午前8時00分より  
計量 午前8時10分より

- 監督会議 大会会場において8時30分から行います。選手権の部、一般の部各チームの監督は監督会議に出席して下さい。  
尚、一般の部出場チームはキャッチ級の為計量は行いません。但し、保護着衣等使用承認証に必要事項を記入し、計量責任者の承認を受けて下さい。

### 競技方法

#### (1) 予選リーグ

- ① 4ブロックのリーグ戦方式で1セットマッチとし、選手権の部は各ブロック上位2チームが決勝トーナメントに進出する。一般の部は、出場全チームが決勝に進出する(実行委員会の責任抽選によりトーナメント1試合目はそれぞれのブロックへ進む)。なお、2レーンを使用する。
- ② 順位が同率の場合、順位決定は次の順番で行なう。(一般の部には適用しない)
  - 1) 直接対決で勝ったチーム
  - 2) コーション数の少ないチーム(ノープル時のコーション数も加算する)
  - 3) エントリー選手全員の平均体重が軽いチーム
  - 4) 抽選による

#### (2) 決勝トーナメント

- ① 決勝トーナメントは1回戦から3セットマッチとする。
- ② 準決勝まで2レーン、3位決定戦・決勝は1レーンで実施する。

#### (3) その他

- ① 予選リーグでは、いかなるサービスも受けられないので、プラカード以外の持込みを禁止する。但し、貴重品の一括管理による持込みは認める。
- ② 決勝トーナメントで3セット目となった場合、主審の宣告した休憩時間内にサービスを受けることができる。その範囲は水分補給、タオルの使用、靴底の清掃とする。(炭酸マグネシウムの使用は不可)
- ③ 選手控席からのビデオ及び写真撮影は禁止する。

### 監督

- ① 監督はチーム編成、選手交代及びチームのすべてを管理し、試合中は競技エリアの外側で、審判員の判定に支障のない位置から選手に指図することができる。
- ② 監督が選手として出場する場合は監督代理を立てることができる。

### 服装

- ① ショートパンツの下に、タイツ、またはスパッツ類の着用は可とする。
- ② ユニフォームの素材は布製としなければならない。また、ユニフォームの補修は必要最小限度とし、かつ

裏側からとする。

- ③ バンダナを着用する場合、チーム全員で揃える必要はないが、タオル等を頭に巻いての出場は不可。
- ④ ユニフォームはショートパンツの中に必ず入れること。

## 保護着衣等

### (1) 保護着衣

- ① 保護着衣の使用はアンカーのみ認められるが、保護着衣等使用承認証に必要事項を記入し、計量責任者の承認を受けること。
- ② アンカーの保護着衣は傷害防止を目的に厚さ5.0cmまで許される。
- ③ 保護着衣の使用にあたっては、ユニフォームの下に着用する。
- ④ 承認された保護着衣以外の物をつけての出場が確認された場合、その選手は失格とする。
- ⑤ プラーの保護着衣の使用は禁止する。

### (2) 保護ベルト

- ① 保護ベルトの使用は、腰部の保護を目的とする場合のみ許される。
- ② 保護ベルトはユニフォームの上から着用するとともに、ベルトに緩みがなく、かつバックルがロープ側にならないこと。
- ③ 保護ベルトの目的外使用は、取り外しが指示される。

## 医療措置

- ① 絆創膏、テーピングテープ類の使用については、必要最小限度の方法で許される。  
(保護着衣等使用承認証対象外とする)。
- ② 腰のコルセット及びアンカーの肋骨保護器具等の使用にあたっては、保護着衣等使用承認証に必要事項を記入し、計量責任者の承認を受けること。
- ③ サポーター及びリストバンド等の使用にあたっては届けの必要はないが、目的外使用は取り外しが指示される。

## シューズ

- ① シューズクリーナーの使用は、靴底の清掃を目的とする場合にのみ許される。以下の3点のみ使用可とし、それ以外のものの使用が発覚した場合は失格とする。  
ミズノ(9ZA-860)、ミカサ(MST-300)、アシックス(6014T) \*但し6014Tは、既に生産中止。
- ① アリーナ内でのシューズクリーナーの使用は禁止。
- ② 滑り止め効果があるもの、またレーンを損傷させるような薬品類の使用は一切認めない。レーンマットに靴底のゴムが付着するなどが確認された場合は、失格とする。

## 滑り止め

- ① 主催者が準備する炭酸マグネシウムのみを使用を認める。その他の薬品類の使用は一切認めない。
- ② 炭酸マグネシウムはスタンバイ席に設けられたCMステーションで付けること。
- ③ 滑り止めの有無の確認を審判員に求められた場合、すみやかに応じること。

## ヘルメット

アンカーヘルメットを使用する場合はチームで用意すること。

## 計量

- ① 計量時の服装は、ショーツ等下着のみは不可。必ずショートパンツ、またはスパッツで計量を受けること。
- ② 計量は通告されている計量時間内で終了すること。

前日 10月29日(土) 16時10分～17時00分 アリーナ内計量所

当日 10月30日(日) 8時10分～8時40分 アリーナ内計量所

- ③ 計量にあたっては、必ず『2016競技者登録証』を提示すること。
- ④ 計量時に、保護着衣、保護ベルト及び医療措置器具等を持参し、チェックを受けること。また、保護着衣及び医療措置器具等は、事前に『保護着衣等使用承認証』に必要事項を記入し承認を受けること。

#### メンバーリスト

- ① メンバーリストに必要事項を記入してから計量を受けること。
- ② 記録用紙の記入は、出場しない選手欄に”×”印を付けること。
- ③ 監督は出場全試合の終了後、プラカードとともに画板、ボールペンを指定した場所に返却すること。

#### 保護着衣等使用承認証

- ① 保護着衣等使用承認証(1部)に必要事項を記入してから計量を受けること。
- ② 承認証の対象は、アンカーの保護着衣、保護ベルト及び医療措置器具とし、その他の軽微なものは対象としない。
- ③ 計量時間内に計量責任者のチェックを受け、事前チェック終了後は承認証を受け取り、メンバーリストの記録用紙とともに所持すること。

#### 競技会

##### (1) スタンバイ

- ① スタンバイ席を設けるので、事前に確認のこと。
- ② 各チームは出場試合の3試合前までにスタンバイ席で待機のこと。常に試合進行状況に注意し、試合進行に協力すること。放送による呼び出しは行わない。間に合わないチームは、棄権と見なす。
- ③ 予選リーグは、競技進行予定表の左がLサイドとなり、右がRサイドとなる。
- ④ 決勝トーナメントは、トーナメント表の左がLサイドとなり、右がRサイドとなる。

##### (2) 入場・退場

- ① 入場は駆け足入場とする(副審の先導はない)。
- ② 退場は主審の指示により、入場と反対側のサイドへ退場する。

##### (3) ポジションの変更

- ① 主審の「礼」の号令まで、自由に変更できる。
- ② 2セットマッチ以降にあっては、主審の「サイド交代」の号令までは自由に変更できる。

#### 抗議

- ① 勝敗に関する異議申立ては、一切受け付けない。
- ② 監督は競技に関して疑義、または不服がある場合は文書で競技委員長に提出できる。

#### ウォーミング・アップ

- ① 前日は、13:00～16:00 までアリーナでウォーミング・アップすることができる。
- ② 当日は、8:10～8:40 までアリーナでウォーミング・アップできるが、終了時間を厳守のこと。

#### 開会式

午前9時から開会式を行う。8時50分までに指定の位置に整列のこと。

開会式には必ず参加すること(観客席にいないこと)。また、タオル等を頭に巻いて参加しないこと。

## 会場使用上の一般的注意事項

### (1) 選手席

- ① 選手席は特に指定していないが、譲り合って着席のこと。
- ② 一般・応援団の入場は選手入場後とするので、選手は応援団等の座席を事前に確保しないこと。
- ③ 競技アリーナへのチーム登録メンバー以外の者の立ち入りを禁止する。
- ④ 入退場口で立ち止まったり、物を置かないこと。

### (2) 更衣・荷物の管理

- ① 荷物を大会会場に送らないこと。
- ② 選手更衣室のロッカーは利用できる。
- ③ 貴重品、荷物の保管管理は、各チームが責任を持って行なうこと。

### (3) 応急処置

- ① 負傷等が発生した場合は、主催者側で応急手当を行なうが、その後の処置はチーム、または個人の責任において対応すること。
- ② 出場全選手を対象に傷害保険に加入する。傷害等が発生した場合は本部席まで申し出ること。

### (4) 応援・垂れ幕

- ① 応援は観客席で行い、ホイッスルの使用は禁止する。
- ② 垂れ幕・幟等の使用は、他の観客の迷惑とならないように注意すること。
- ③ 垂れ幕・幟等を壁・柱・手すり等に針金、ガムテープ等で固定することは厳禁。また、施設等に損傷を与えた場合は修復費用を請求する。

### (5) 写真・VTR撮影

- ① 競技アリーナ内は、許可された者以外の立ち入りを禁止。また、指定された場所以外での撮影はできない。
- ② 館内でのストロボ撮影はすべて禁止。

### (6) プラカード

- ① プラカードは開会式および競技中は、各チームの管理により使用する。
- ② 出場全試合が終了したチームは、プラカードと画板を指定所に返すこと。

### (7) ゴミ処理

- ① ゴミは、各チームで持ち帰ること。
- ② 弁当殻は、必ず依頼業者に引き取ってもらうこと。弁当を持ち込んだ場合は持ち帰ること。チームの応援団も同様。

### (8) 開場

- ① アリーナの開場は、午前8時00分であり、入場は1階正面玄関を利用する。

### (9) 喫煙について

館内は全館禁煙である。喫煙する場合は、指定された場所で喫煙すること。  
また、開場待ちで並んでいる時も禁煙とする。たばこの吸い殻やゴミを絶対路上に捨てないこと。

### (10) 観客席での飲食と飲酒の禁止

観客席で飲食は出来るが、アルコール類の飲酒は禁止とする。

### (11) その他

- ① アリーナ内での食事、待機中のコップ等に注いでの水分補給は禁止する。また入場から退場までの水分補給は厳禁とする。指示に従わない場合は、退去処分とする。
- ② 非常口付近に荷物を置いたり、更衣・食事をしたりすることは厳禁。非常口付近は常に開放しておくこと。

以上